

いたばしの志村に美味しい湧き水が——本当に  
出ています。もっともっとあふれ出てくるかな。



## ◎志村の町を見つめた志村小のプロジェクト学習の取り組み

うすいしんとうます

### ……《雨水浸透枡》を埋め込みました。

志村は、板橋の中で古く鎌倉時代の“吾妻鏡”の文書に残る地名である。もとは、しの村（篠を切り開いた村）と呼ばれていた。

武蔵野台地のもっとも北東端の台地が、低地にせり出したまさに崖っぷちのところに志村小学校が建っている。このあたりは15万年前、海岸線で高島平から荒川まで、ずっと海だったことがわかっている。台地が急傾斜面で低地につながっているということは、大地の下に地下水が流れ、崖下で、湧水が溢れ出す。志村には、3泉があり、薬師の泉・見次の泉・出井の泉である。薬師と見次は今も湧水が流れ出ている。現に、学校から下ったところの城山公園には、わずかではあるが、湧き水の流れが今もある。さらに下がった志村2丁目24番の白田さん、山本さんのお宅の屋根の下に、10秒で1ℓ以上もたまる湧き水が今も溢れでている。(理科の辻先生の紹介)この水で、煮炊きし、そのまま飲み水として使っている。伺って飲ませていただいた。「ものすごくまろやか/おいしい!」板橋に飲めるおいしい湧き水が、こんな何気ないところに出ていたとは。板橋の自然大発見であった!!



本当においしい湧き水です。

もうすぐ、節分という春を待つある日、志村小学校で、小澤高嗣校長と沼澤政司前校長にお話しをうかがうことができた。

## Q 雨水浸透枡を埋めようと考えたことになったプロジェクト学習について教えてください。

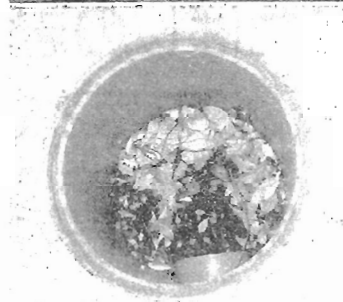


沼澤政司前校長先生— プロジェクト学習は、「課題発見力・課題追求力・自己評価力・人間関係力」を育てることが狙いです。(自己評価力は、ポートフォリオ評価—自己学習成長記録ファイル—による。)プロジェクトチームは同じ目的に向かっていく同士の集まりであり、メンバーが自分の得意な力を発揮し、その力を集めて目的を達成する。自分の得意なことを中心に行うので、一人ではできなかったことが達成できるようになる。学習場面として、準備→テーマ・ゴール→計画→情報リサーチ→制作→プレゼンテーション→再構築→成長エントリーという展開です。

志村小学校には樹齢百年のタイサンボクがある。

Qそこで、3年生が志村公園を作ろうというテーマで取り組んだ内容はどんなものでしたか？

沼澤前校長先生— 全校が「志村」という地域を土台にすえました。この湧水に気付いた志村小の3年生たちは、「城山公園を作ろう」という大テーマの下、NPO 法人の森良さんと神社や、公園で遊びながら、湧き水がなくならないようにしたいと思うようになりました。町会長さんや区環境保全課の職員（前）坂本さんにもお話ししてもらったりして、湧水を増やすためには、地面に直接、雨水がしみこんでいく、浸透枡を埋めたいと子どもたちが言い出しました。



雨水浸透枡は校内に2箇所設置された。底に見えるのは炭。

Qこの取り組みには、お金がかかりますね？そして、浸透枡の仕組みは？

沼澤前校長先生— そこで、板橋区の「学校現場主導型予算」に応募して、66万円を使えることになりました。雨水浸透枡、雨水タンクなどに使いました。

辻修身先生— 雨水浸透枡は1箇所 8万円ぐらいです。屋上から集まる雨水は普通、下水に流れ地面には一切浸透しない仕組みですが、ドレーンを地面の上で浸透枡に誘導して土の地面にしみこませるのです。目立たないのですが、雨水タンクの水はこんなに勢いよく出るのですよ。花壇の野菜などに撒いています。

Q結果はどうになりましたか。

沼澤前校長先生— 今、町会長さんたちが湧水の流量を測っています。5ℓ溜まるのに45秒だったそうです。今後を楽しみに見まもっていきたいと思います。



雨水タンクは花壇の脇にありました



小澤高嗣校長先生

Qほかの学年はどうですか。

小澤高嗣校長先生— 今年、6年生が日光と板橋を比較して調べようとリサーチしました。日光では、リサーチが必要と自分たちで判断し、地元の商店街を訪問して、ためらうことなくたずねていました。これも、昨年までのプロジェクト学習での学び方の成果が現れていると思いました。



沼澤政司前校長先生

Qほかに小澤校長先生から見た子どもたちはどんな様子ですか。

小澤校長先生— 子どもたちが、地域に目が行くことです。関心がある。学習方法が身につけていること。インターネットやインタビューやアンケートをとることなど、いちいち先生に聞かずにできるのです。それに、自然に「生の声を聞いてこよう」という発想が出てくる。課題発見力、追求力、関係力などの力がついていると感じます。今の時期、6年生が男女仲よく遊んでいるんですよ！

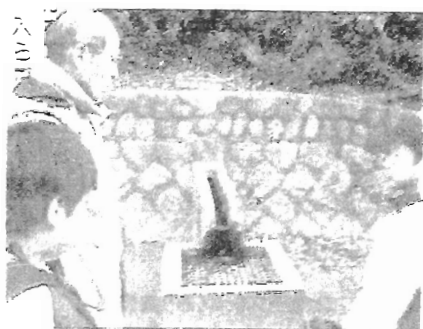


辻修身先生

Q小澤校長先生の願いを教えてください。

小澤校長先生— 学校の周囲の自然の樹木などを教材化したいです。春

になったなー、寒くなったなーという空気の変化の香り、  
感じを五感でとらえられる子を育てたい。木などを実際に  
触って言葉で表現していく子です。さらに、プロジェク  
ト学習を進めたいです。



志村小の子どもたちが城山公園の湧水を案内してくれました

湧水を増やしていこうという発想も素晴らしいが、それを大人  
たちが大切に受け止めて、予算を獲得し、翌年雨水橋、タンクの  
設置と実施したのが素晴らしい。そして地元にあのような見事  
な湧水があふれ出ているとは。雨水浸透枡を土のところにたくさ  
ん埋めて、こういう流れを復活させていきたいものです。

## 1月、荒川の野鳥初見会でオオタカ、 カワセミを観察しました。

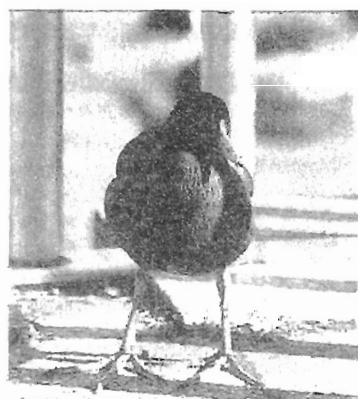
(写真レポート：SOE 会員 栗原春江)



ユリカモメと水浴びするバン



風も無く、よく晴れたお正月の4日、野鳥観察会に参加しました。板橋野鳥の会を中心に、北区水辺の会や荒川クリーンエイド等5団体29人が参加しました。浮間公園では、たくさんの水鳥やカモメに混じって、カワセミが見られました。太陽の光が、羽をコバルトブルーに輝かせ、なんとも言えない幸せな気分にさせてくれました。ここで見た鳥は、ユリカモメ、セグロカモメ、カワウ、バン、オオバン、オナガガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、ハシビロガモ、マガモ、カルガモ、コサギ、ゴイサギ、アオサギ、カイツブリ、等約20種類。このあと荒川の土手・自然生態園に行き、タヒバリ、モズ、ベニマシコ、イソシギ、等の



バン

珍しい鳥を見ることが出来ました。生態園の橋の奥まで行くと、そこでなんと、オオタカに出会いました。カラスの巣にとまり、ドバトかなにかの肉を足で押さえ嘴で引きちぎって食べる様子、赤い肉と金色の



オナガガモのオスとメス

目を鮮やかに望遠鏡で見ることが出来ました。こんな凄い猛禽類を育む荒川の自然の豊かさを改めて感じました。もし自分ひとりで行ったら、まったく見つけることは出来なかったと思うような、遠くの小さな鳥や木の枝に隠れた鳥を目ざとく見つけて、すごい倍率の望遠鏡で見せてくださる、野鳥観察のプロともいえる人々に案内されてできた素晴らしい観察会でした。この後、あたたかい草原でお弁当を食べ、自己紹介をして、解散しました。

## ◎ S.O.E. 活動報告 (2008年1月)

日	曜	内 容
4	金	新春 荒川野鳥初見会
5	土	ビオトープをつくらう会作業日
12	土	SOE ニュース1月号発行作業日-2300部発送
19	土	ビオトープをつくらう会作業日
20	日	SOE 学生との協働によるワークショップ-板橋区立志村第四小6年生への授業準備作業・板橋区環境なんでも見本市へ出展準備
30	水	板橋区 子育て講座 SOE 講師 (寺田) 成増社会教育会館主催

## ◎ S.O.E. 活動予定 (2008年2月)

1	金	板橋区立桜川小学校 校内研修会 SOE 講師 (寺田)
2	土	板橋区環境なんでも見本市 参加~3日
9	土	板橋区 子育て講座 SOE 講師 (寺田)
10	日	全国学校ビオトープ・コンクール「目がかがやいているね、ビオトープ」2007 (2年に1回) SOE 顧問 佐島耕巳先生 (審査委員長) SOE メンバーも参加
11	月	SOE 学生との協働によるワークショップ 一志村第四小6年生への授業準備作業
15	金	板橋区立志村第四小との授業打ち合わせ
16	土	SOE ニュース発行作業日-2300部発送
22	金	板橋区立志村第四小学校6年生 「ぼくらの志四小とうふをつくらう」 出前授業実施 学生スタッフ8名~10名
27	水	板橋区立板橋第七小学校 6年生による「緑のカーテン学習発表会」5年生・板橋第一中学校1年生・見守り隊・スクールガイドの方々・保護者・緑のカーテン応援団・板橋環境行動委員会他地域の方々・教職員全員参加・SOE 講師 (寺田)

## 【学習会のお知らせ】環境教育に関心のある方、どなたでも、ご参加いただけます。(参加費無料)

フードマイレージを題材とした、環境教育の模擬授業と、板橋区内の小学生を対象とした実際の授業プログラムづくりを行う学習会です。講師担当はエコポリスセンター。ご参加ご希望の方は、当日に直接会場までお越しください。

日時 | 3月20日(木・春分の日) 13時から  
(受付開始12時45分・直接お越しください)

会場 | いたばしエコポリスセンター3F・実験室

お問い合わせは下記・センスオブアースまで。

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053  
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp